

授業科目名	スポーツ施設経営と体育法学	担当教員名	三上 教道 / 加藤 裕二
科目区分	児童体育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 1単位 (16時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの起源を説明し、発展の歴史を 探る ・スポーツの発展について、日本の特徴を 探る ・現在と将来の社会的背景とスポーツ環境 を把握する ・これまでのスポーツの考え方、生涯ス ポーツの対象と課題及びこれからの指導理念 を明らかにし、スポーツの文化化について 説明する。 ・文化現象としてのスポーツを説明し、ス ポーツを文化としてとらえることの重要性を 説く。 ・理想のスポーツ指導者像やスポーツ指導者 はなぜ 有資格者であるべきなのかを議論させるとともに、公 認スポーツ指導者について理解させる。 		
到達目標	<p>I - 1「スポーツとは何か」についての定義づけを明確にし、スポーツ発展の経緯と現代スポーツの考え方（社会環境の変化とスポーツを取り巻く環境）について理解を深める。現代スポーツの考え方を明らかにし、ス ポーツを文化として捉えることの重要性について理 解を深め、スポーツ技術・戦術以外のスポー ツの文化的内容であるスポーツ観及びス ポーツ規範（ルール、マナー、エチケット、ドーピング防止等）の重要性について学習する。</p> <p>II - 1スポーツ指導者は、スポーツ技術指導の専門 家としてはもちろんであるが、社会の中でスポー ツが果たす役割についても学ぶ必要がある。現 代社会において、スポーツの魅力 を多くの方に 伝え、良き理解者を増やすためにも、指導者自 身がスポーツと社会との関わりについて理解し、スポーツの社会的価値を高めていかなければなら ないことを理解する。</p> <p>III - 1 スポーツ指導者として求められる理想像について理解を深め、スポーツ指導者の役割とは、どうい うことであるの かを学習する。スポーツの意義と価値について理解を深め、国民ス ポーツ推進のために中心となる公認スポーツ指導者の役割 について学習する。</p>		
テキスト	公益財団法人 日本スポーツ協会 リファレンスブック 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 I および II		
参考書・ 参考資料等	随時プリントを配布		
成績評価の方法	小テスト・レポート課題70% 平常点30%		
授業外（事前・事 後）学習の方法、オ フィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	スポーツとは（スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方）	(2)-(2)	
第2回	スポーツとは（スポーツを取り巻く環境）	I - 1	
第3回	文化としてのスポーツ（スポーツの文化性、文化的内容、スポーツ観）	I - 1	
第4回	文化としてのスポーツ（スポーツ規範、ボランティア）	I - 1	
第5回	社会の中のスポーツ	II - 1	
第6回	我が国のスポーツプロモーション	II - 1	
第7回	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	III - 1	
第8回	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」	III - 1	